

こども未来部長目標（令和8年度組織目標）

● こども未来部長 草薨 秀夫（くさなぎ ひでお）



● 業務をもって貢献しているSDGsの主なゴール

- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 10 人や国の不平等をなくそう



● こども未来部の仕事

こども未来部は、こども政策課、こども支援課、こども福祉課、青少年課、保育幼稚園課、こども家庭センターの6課で構成され、子育て家庭への経済的支援、母子保健・子育てに関する相談、放課後児童対策、保育園・幼稚園等に関すること、就学前の障害児が通う施設及びこども支援センターの運営などを行っています。

● こども未来部の目標

こどもを中心としたまちづくりを進めていくため、こどもの視点に立ち、こどもの幸せを第一に考え、「所沢市こども計画」に基づき、親子の絆を深める切れ目のない子育て支援、特に寄り添いや支え合いが必要な子育て家庭の支援、保育園や児童クラブの待機児童対策、こども・若者の育成支援などを進めます。

● 目標達成に向けた重点事業

No.	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	子育て環境の整備に関する事業	すべてのこどもが地域の中で安心して過ごし、健やかに成長できる環境づくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブの待機児童解消に向け、放課後児童クラブの整備による定員拡大を進めるとともに、放課後児童支援員の処遇改善を促進することで、安定的な運営を図ります。 ・小学校の夏季休業期間中に安全・安心な居場所を提供するため、サマープレイスとこざわ実施事業の実施場所を6か所に増やします。 ・全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な育成環境を整備するとともに、全ての子育て世帯に対する支援を強化するため、こども誰でも通園制度の円滑な実施に努めます。 	
2	切れ目のない子育て支援に関する事業	子育てに関する孤立感や負担感の軽減のため、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援や、関係機関と連携しながら、特に寄り添いや支え合いが必要な子育て家庭を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ・産後も安心して子育てができる支援体制を確保するため、これまでの宿泊型、デイサービス型に加え、新たに訪問型の産後ケア事業を実施し、心身のケアや育児サポート等のきめ細かい支援を行います。 ・障害児混合保育を行う民間保育施設への支援強化により、こどもの健全育成や子育て家庭の支援につなげます。 	
3	こども・若者の育成支援に関する事業	こども・若者にとって安全で安心な居場所づくりを進めるとともに、社会参加の機会を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生世代の居場所として認知・利用してもらえるよう、トコハビ（児童館）の周知啓発に努めます。 ・所沢市LINE公式アカウント「こども・若者情報チャンネル」を活用し、若者の居場所づくりにつながる情報を配信するとともに、こどもや若者が社会や地域に参加しやすい仕組みを整備します。 	